

## 子どもの絵の見方

校長 大矢 隆

11月1日まで、創立70周年記念たつまき絵画展を開催しました。多くの皆様のご来校、誠にありがとうございました。今回は私の専門でもある、美術に関する考察を記します。

学習指導要領上、図画工作は「低学年は『楽しく』、中学年は『豊かに』、高学年は『創造的に』発想や構想をする。」とあります。また、図画工作で目指す、学びに向かう力・人間性等については、「低学年は『楽しく』、中学年は『進んで』、高学年は『主体的に』活動に取り組み・豊かな生活を創造しようとする態度を養う。」とあります。

まとめていうと、学校教育では「楽しさをベースに、創造的に、主体的に造形活動をしましょう。」ということです。まずは、ここを押さええます。

次に、基本的に子どもが絵を描くときは、見て描くのではなく「考えたことを描く」という事実です。見たものや経験をもとに、必ずフィルターとなる「感じたこと、考えたこと」を通して出力します。突き詰めれば我々大人も同様ではありますが、子どもはより自分が考えたこと経験したことを主体的に描き、「楽しく」「豊かに」「創造的に」発想・構想することができるのです。まさに、アーティストといわれる人たちと同様だといえます。

ここで、アメリカの画家ジャン＝ミシェル・バスキアの絵を紹介します。バスキアは27歳の若さで他界していますが、聡明で才能豊かな画家でした。描いた絵は、まさに考えたことを羅列して描く「子どもの絵」です。強い個性、アイデンティティに溢れています。私見ではありますが、おそらく子どもの絵の、楽しく、豊かで、創造的な魅力、パワーを感じてリスペクトし、自分もそうありたいと決意し、自らその表現の世界へ入り込んだのだと思います。



「Foey」 Mori arts center gallery 2019 Allowed photos

子どもの絵は、そもそも楽しく豊かで創造的と捉えれば、我々大人は子どもの発想・構想に余計な口出しをしていないかとの自制が必要です。せっかく楽しく創造的な学びに向かっているのに、大人が先走って子どもの創造性を奪っていないでしょうか。子どもが本当に困ったとき、行き詰ったときこそが大人の出番です。これは教育のすべてに当てはまることだと思っています。

最後に、本題である「子どもの絵の見方」の具体についてですが、元小中学校教諭、文科省教科調査官、現在大学教授の奥村高明氏は、以下の3つのポイントを示しています。

- 1 近づいて見る（その子のまなざしになる）
- 2 描いた順番をたどる（発想や思考のプロセスに身を重ねる）
- 3 その子が描いた理由を考える（何を感じ何を考えたのか）

この見方をすると、きっと子どもと対話したくなります。子どもの絵を介して対話すること、これこそが子どもの主体性や創造性を高めるために、我々大人ができることではないかと思えます。ぜひお子さんの絵を介して、親子で対話をしてみてください。

さて、現在、有明台小学校の子どもたちは、創立70周年記念アトラクションの音楽発表に向けて、練習を重ねています。こちらもぜひご来校いただき、お子さんの自己肯定感につながる対話のきっかけとしていただけると幸いです。

## 12月、1月の主な行事予定(変更する場合があります)

月	日	曜	行事等
12	2	月	たつまキッズ
	3	火	2年生5限授業
	5	木	全校計算テスト②
	6	金	70周年記念有明台祭り(1~3限)、CS③、全校5限放課
	7	土	たつまキッズ
	9	月	個人懇談(希望)①・全校4限・給食・放課
	10	火	個人懇談(希望)②・全校4限・給食・放課
	11	水	全校4限・給食・放課(市小研のため)
	12	木	個人懇談(希望)③・全校4限・給食・放課
	13	金	個人懇談(希望)④・全校4限・給食・放課
	14	土	たつまキッズ
	16	月	全校4限・給食・放課
	17	火	2年生氷上スポーツ体験(午前)
	18	水	委員会③(引継ぎ)
21	土	たつまキッズ	
23	月	後期前半終了日・冬休み前全校朝会・授業4限・給食・清掃・放課	
24	火	冬季休業(～1/7まで)	
1	1	水	元日
	7	火	冬季休業終了
	8	水	後期後半開始日、全校朝会、3限授業・給食なし・放課
	11	土	有明台小学校創立記念日
	13	月	成人の日 
	14	火	校内書き初め展(～17日)
	15	水	特別時程5限(市小研の日)、学習参観日
	16	木	全校漢字テスト
	18	土	たつまキッズ
	20	月	全校4限・給食・放課、給食週間(～24日)
	22	水	委員会④
25	土	たつまキッズ	
27	月	たつまキッズ	
29	水	委員会(オリエンテーション)	